

【学修到達目標】

- 文化遺産学習とメタバースの利用について理解することができる。
- メタバースを利用した授業例について説明することができる。

1. 文化遺産学習のメタバーース

目的

- 地域の文化遺産を深く学ぶ
- 地理的・天候の影響を受けない安定した学習環境の提供
- 実際の校外学習と仮想体験を組み合わせた効果的な学習

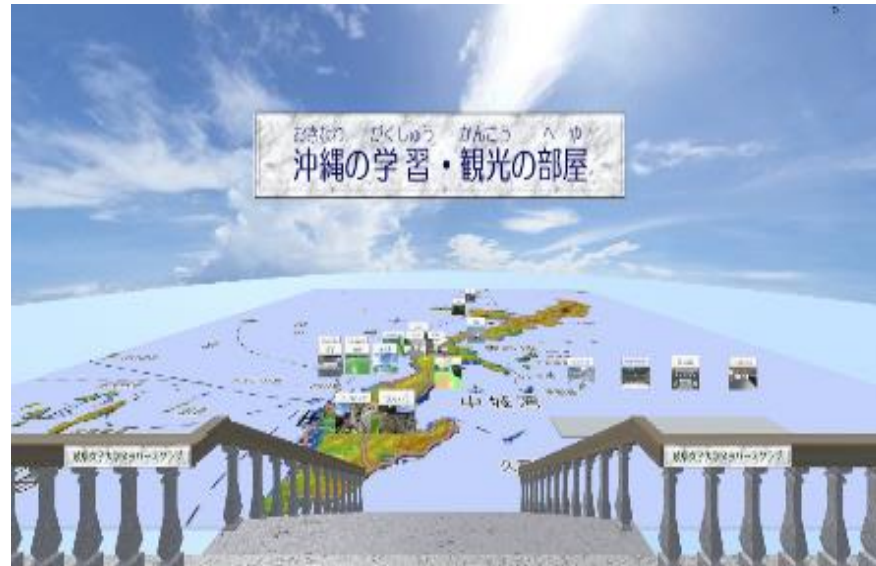
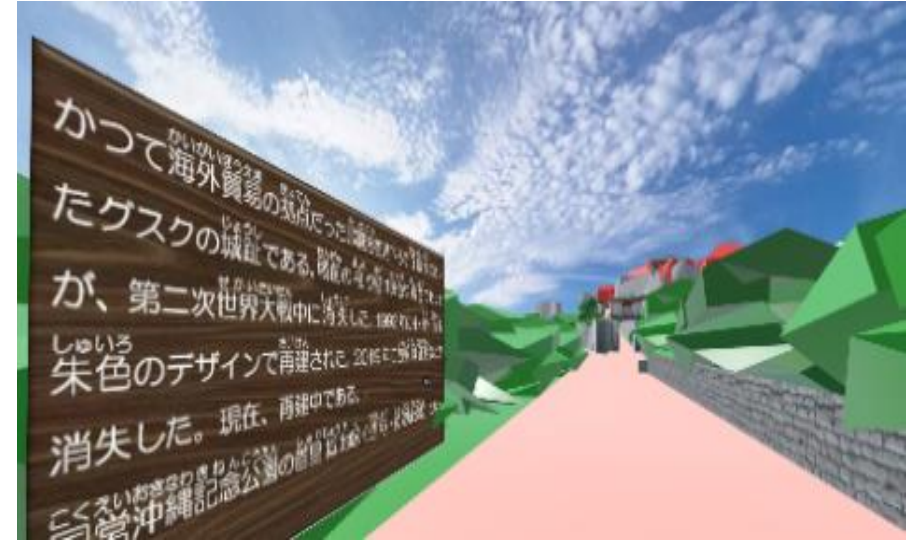


図10-3 メタバーースの「沖縄の学習・観光の部屋」

1. 文化遺産学習のメタバーース

時間や場所の制約なく
文化遺産を学ぶ



メタバーースの「首里城」



メタバーースの「王陵」

1. 文化遺産学習のメタバーズ

沖縄の学習・観光のメタバーズ

個別最適な学習環境

一人一人の子供が主体的に課題解決をする学び

遠隔協働学習

学校に行くことができないとき

観光DX

岐阜女子大学メタバースクラブ沖縄サテライト校チーム

2. 実証授業

主な学習目標

- 過去の史跡と現在の姿を比較し、変化の理由を考察する
- メタバーズ内をアバターで探索し、史跡の特性を直感的に理解する
- 他の児童との議論を通じて、深い考察力を育む

授業の成果

- 児童の理解が深まった
- 世界遺産の保全に対する意識が高まる
- 自分にできることを主体的に考える児童が増えた

2. 実証授業

授業の進め方

- 地図を活用し、身近な史跡の位置関係を確認
- メタバーズ内の史跡を訪問し、疑似体験
- テキスト資料を活用しながら、史跡の歴史的背景を学習

児童の反応と成果

- 「メタバーズは便利な学習ツールだ」
- 理解度が向上
- 「次回の授業でもメタバーズを活用したい」
- 地域の歴史を学ぶための新しい方法としての可能性

2. 実証授業

主な学習目標

- 過去の史跡と現在の姿を比較し、変化の理由を考察する
- メタバーズ内をアバターで探索し、史跡の特性を直感的に理解する
- 他の児童との議論を通じて、深い考察力を育む

授業の成果

- 児童の理解が深まった
- 世界遺産の保全に対する意識が高まる
- 自分にできることを主体的に考える児童が増えた

1. 文化遺産学習のメタバーズ

授業の進め方

- 「なぜ沖縄県には多くの観光客が訪れるのか？」を考える
- テキスト資料を活用し、代表的な観光地の歴史・地理を調査
- メタバーズ内の観光地を探索し、特徴を疑似体験

子供たちの反応と成果

- 積極的に交流
- 授業の理解度が向上
- 自分の考えを伝える力

課 題

1. 文化遺産学習とメタバーズの利用について説明しなさい。
2. メタバーズを利用した授業例を考えなさい。